



## 武田社長定例記者会見概要

7月1日午後3時から、武田社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

### <編成関連>

これまでの視聴率は、全日5位、G帯4位、P帯3位。まずバラエティ番組では、これまで好調だった金曜日以外でも手ごたえが感じられるようになってきた。火曜日、水曜日、木曜日の番組が、全体を底上げする数字を獲得している。日曜日の『この差って何ですか?』、月曜日の『世にも不思議なランキング なんぞ?なんぞ?なんぞ?』については、現場が頑張ってくれているので、早く安定した高い数字が取れるようになればと思う。

ドラマでは、日曜劇場『天皇の料理番』が、各所からお褒めの言葉をいただいている。尻上がりに視聴率を伸ばし、平均視聴率14%を超え、7月半ばの最終回に向けてどこまで伸びるか大変期待している。

帯番組では、『ひるおび!』は相変わらず好調を維持している。『あさチャン!』『ビビット』が緩やかではあるが、右肩上がりになってきた。こちらも今後期待している。最後に特別番組だが、今年の8月は戦後70年の節目の年にあたり、8月1日、2日と二夜にわたって放送するドラマ、TBS テレビ60周年特別企画『レッドクロス～女たちの赤紙～』をはじめ多くの特別番組を予定している。8月22日(土)から始まる、60周年特別企画『世界陸上北京』とともに、TBSの番組を見ていただける夏にしたいと思っている。

### <営業関連>

第1四半期のネットタイムセールスは、レギュラーベースでは、前年並みの売上を確保した。単発は、昨年の『国立競技場特番』や『W杯ブラジル大会』規模の番組がなかったため、前年実績を下回る見込みだ。第2四半期は、『世界陸上北京』を現在セールス中で、こちらで大きな売上げを見込んでいる。第1四半期のローカルタイムセールスは、単発セールスが昨年を上回るため、前年実績を上回る見込みだ。スポットセールスは、4月・5月に前年をわずかに上回った。しかしながら、6月は前年実績を下回る見込みで、6月は厳しい状況である。

## <事業関連>

前回の会見でお伝えした映画「ビリギャル」だが、6月30日までの61日間で動員219万人、興収26億円を超え、その後も成績を伸ばしている。当社のドラマ制作部の土井裕泰の監督作品で、現在、今期の邦画実写第2位作品だが、あと少して1位になるところまできている。

TBS テレビ60周年特別企画「ボルドー展 ー美と陶酔の都へー」が、上野の国立西洋美術館で先週開幕した。フランス・ボルドー市の全面協力のもと、ボルドーの6つの主要文化施設から約200点の絵画や作品を紹介している。ドラクロワ晩年の大作「ライオン狩り」や、2万5000年前頃に作られたフランスの重要文化財「ローセルのヴィーナス」などが見どころだ。最後に、今月18日からは、夏の食イベント「TBS デリシャカス2015」が始まる。今回は、赤坂サカスで初めて、バーベキューが楽しめるエリア「マイナビ BBQ ガーデン」がオープンする。夏休みにお子様連れで楽しんでいただけたらと考えている。

## <ラジオ関連> TBSR&C 入江社長

TBS ラジオでの戦後70年企画として、リスナーからの戦争体験を募る「1万人の声・戦争体験談プロジェクト」を進めている。また7月5日(日)から6週にわたり特別企画枠を設定。爆笑問題 太田光と瀬戸内寂聴さんの対談、日中共同制作による学生討論、小林悠アナウンサーがルーツを訪ねた樺太取材ルポなど TBS ラジオが企画・取材・制作した特別番組の数々をお届けする。

2002年から継続している環境キャンペーン、25期となる今回は環境省がスタートさせた「COOL CHOICE」と連動して展開。このコンセプトを伝えるシンボルスポットとして「TBSハウジング渋谷」に[COOL CHOICE CITY]を開設するほか、7月20～26日の期間中は主要ワイド番組で環境問題を取り上げ、特別番組も放送する。

営業関連、5月の売り上げは、前年比タイム98%強、スポット100%。6月タイム98%強、スポット106%で推移している。

事業関連、1967年から1982年まで放送された深夜ラジオ番組『パック・イン・ミュージック』のCDセット第二弾を発売。発売を記念して特番やイベントも開催する。

以上